

関西圏の大規模総合大学で初となる学生へのサービス充実のための組織改編

## 「教務センター」を開設

秋学期 9月21日から千里山キャンパス内にて

このたび関西大学では、これまで学部ごとに行われていた学生への修学上の支援業務を一元化した「教務センター」を千里山キャンパス内に設置し、本年9月21日から稼働しますので、ご参考までにお知らせします。

「教務センター」は本学創立120周年を機とした大学改革の一環として、千里山キャンパス内の学生および大学院生約2万8千人、教員約1千人を対象に、全学共通の基準に基づく質の高いサービスを提供していくものです。

人的資源としての事務職員の効率的再配分、事務職員の業務に関する専門性の強化、さらにはSA（スチューデント・アシスタント）としての学生スタッフの登用により、学生の目線に立ったより充実したサービスの提供を図っていきます。

全国的にさまざまな大学改革の取り組みがなされる中、学生への修学支援に関する業務の一元化はすでに青山学院大学、立教大学等で導入されていますが、関西圏の大規模総合大学では初めてとなる組織改編です。



<教務センター>

## 「教務センター」設置の背景

これまで学生の修学上の諸手続きや相談などの業務は、学部ごとに設置されていた学部事務室が担ってきました。学部事務室は、この他に学部運営や入学試験など、多岐にわたる業務も並行して行っていたため、学生に対する修学支援サービスが質的に限界に達したり、学部ごとに対応が異なるなど、サービスが硬直化してきていました。

また、大学全入学時代を目前にして、カリキュラム改革など教学施策を企画・策定していく機能の強化を図ることも課題となってきています。

## 「教務センター」の特徴

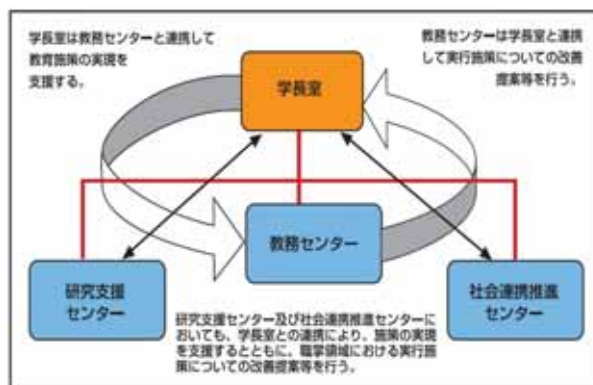
現在、学部ごとに行っている修学上の諸手続きや相談に関するサービスを全学部・全研究科を対象に一元的に行うことで、主に4つのサービス向上を図ります。

1. 全学部・全研究科の窓口を一本化することによる修学支援サービスの標準化、課題やニーズの発掘とそれらに向けた迅速な取り組み
2. 学生に対する修学支援サービス専用のスペースの設置、S A（スチューデント・アシスタント）を含めた事務職員の配置による学生の目線に立ったサービスの提供
3. 事務職員の効率的な再配分による、学生の修学支援に必要な人員の配置やサポート体制の構築
4. 全学部・全研究科の学生が利用することによる修学上の諸制度に関する問題点の発見とニーズの掘り起こし、問題点の改善や新たな制度設計に向けた迅速な対応

また「教務センター」の設置は大学組織の改編とともに、以下のようなメリットも生み出します。

事務職員が各学部・各研究科の教務事務を連携しながら業務にあたることで、カリキュラムや教学上の諸制度のあり方について、大学全体の視点に立った発想で取り組むことができる。

事務職員の効率的な再配分により、学長室を設けて大学の教学施策を企画・策定する機能の強化と、新たに設ける研究支援センターにおいて教員の研究活動の効率的な支援をすることが可能となる。



「教務センター」発足を機とした  
関西大学の組織改編

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>